

消防分野におけるAI導入マッチングイベントについて

技術戦略室

1 はじめに

消防庁では、令和8年3月に策定した「消防技術戦略ビジョン※1」を踏まえ、重点分野として、「AIの活用による高度な判断支援」及び「ロボット・ドローンの活用による活動可能範囲の拡大」を実現するための技術開発を推進している。

こうした背景を踏まえ、消防庁では、経済産業省と連携し、生成AIの持続的な開発力の向上と社会実装の加速を目的としたプロジェクト「GENIAC※2」との協働のもと、消防分野における初めてのAI導入マッチングイベントを開催した。

本イベントは、AI技術（AIロボティクスを含む。以下同じ。）に関するニーズを有する消防本部と、AI関連企業とを将来的にマッチングし、消防庁及びGENIACの支援のもとで、消防分野におけるAI技術の活用を推進することを目的としている。

※1 https://www.soumu.go.jp/main_content/001064554.pdf

※2 https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/geniac/index.html

2 イベントの概要

【イベント名称】GENIAC × 消防庁 消防分野AI導入マッチングイベント

【実施日】令和8年6月24日

【会場】中央合同庁舎2号館 地下2階 講堂

【参加者】

- ・消防本部等の消防関係者：約100名
- ・AI関連企業：15社

【主な内容】

①消防分野におけるAI活用ニーズの説明

（ニーズの内容）

- ・119番通報の対応業務に係るAI活用（119番通報の自動応答等）
- ・#7119の自動応答等

- ・現場指揮活動の判断支援
- ・建物等の防火対策の支援
- ・ロボットの活用



図1 消防庁による説明の様子

②参加企業による保有技術のプレゼンテーション
（詳細は図2参照）

③参加企業の展示ブースの見学、自由交流

展示ブース見学及び自由交流では、消防関係者が各企業のブースを訪問し、技術の特徴や消防業務への適用可能性について活発な意見交換が行われた。

GENIAC

出展企業一覧

119番通報の
自動応答に必要な
技術と親和性のある
技術

- 株式会社ELYZA 日本語や業界特化型の大規模言語モデル(LLM)の開発と、それを活用した大手企業のDX推進やコンサルティング、AI SaaSの提供を実施
- 株式会社IVRy 119番通報のAI自動化119番通報の「受付・ヒアリング・転送・文字起こし・情報整理」を一気通貫でAIが効率化
- 株式会社MITSUHIRO 「HealthSearch」を救急相談の入口として位置づけ、セルフケアから通報、医療機関受診までを最適につなぐ救急医療インフラ」の構築を推進
- 株式会社Quick 株通報音声のリアルタイム文字起こし・要約・緊急度判定等を通じて、指令業務の効率化・品質向上を支援
- カラクリ株式会社 独自の国産AIを自社開発実施。行政情報の発信から住民の相談対応、研究現場の専門AI開発まで、一気通貫に提供
- 株式会社ゼネラル 指令システム/消防救急デジタル無線システム/市町村防災行政無線の製造、開発、販売及びサービス提供を実施
- Fairy Devices株式会社 ウェアラブルデバイスで収集された膨大な現場データから、熟練工の暗黙知や高度な身体知を抽出し、技能継承や作業の自動最適化を実現
- 株式会社Highlanders ヒューマノイド及び四足歩行ロボットを開発しており、数多くのPOC実績あり。消防用途では四足歩行ロボットの災害時の活用を検討中。
- newmo株式会社 24時間365日すべての電話を受電し、迎車地を確認して配車システムに自動登録するAI電話配車エージェント「maido」を展開
- nocall株式会社 AI電話自動化SaaS「nocall.ai」を提供。架電・受電を自動化し、人材紹介・採用・督促・カスタマーサポート等の電話業務を効率化
- 株式会社Preferred Networks デジタル庁のガバメントAI「源内」の採用をはじめ、700を超える全国の自治体への利用実績を有し、さまざまな現場でのAI活用を支援
- 株式会社アトム ヒューマノイド本体だけでなくハンド部分やVLAモデルも自社開発し、量産に向けた国産サプライチェーンを構築中
- 日本電気株式会社 災害映像を集約・検索しやすくし、必要情報の把握を支援する技術提供。AIが映像を解析・文書化し、状況把握や報告を効率化

建物等の防火対策の
支援に必要な技術と
親和性のある技術

- 株式会社ABEJA ABEJA Platformを中核に、顧客のAI活用を実運用として成立させ、継続的な高度化を実現するエンタープライズプラットフォーム事業を展開
- 東北物産株式会社 消防設備設計・施工・保守、電気工事、電気通信工事、雷害ソリューション、消防設備デジタル審査ソフトRAGDA開発・販売など

図2 参加したAI関連企業一覧



図3 展示ブースの見学

3 今後について

本イベントは、消防関係者とAI関連企業が直接対話し、消防業務特有の課題などを共有することで、AI技術を消防分野で活用していくための具体的な連携につながる機会となった。

消防本部とAI関連企業とのマッチングが成立した際は、消防庁及びGENIACの支援のもとで、消防分野におけるAI技術の活用を推進していくことを想定している。